

経営品質アセッサーフォーラム (JQAAフォーラム2010)

1. JQAAとは
2. JQAA活動紹介
3. 2009年度振り返り
4. 2010年度の取り組み

2010年6月24日
JQAA理事長 雪竹 泰三

1. JQAAとは

**経営革新を志す仲間が
実践力・推進力を高めるために
学びあうコミュニティです。**

《JQAA理事の行動指針》

- ① 広く経営革新に取り組む経営者・推進者・アセッサーの
要望・期待の変化をタイムリーに把握し、
- ② その要望・期待にそった実践事例、実践手法や推進の
仕方などについて相互研鑽していくことで、
- ③ 参加者全員が活動成果を共有し、同じ志を持った
人的ネットワーク構築の手助けをする。

2. JQAA活動紹介

■ 学習活動(学習部会)：相互研鑽の場の提供

- ・研究会（講師から学ぶ）
 - 成功・失敗克服事例からの習得
 - 有効な革新手法の実践結果からの習得
- ・実践研究会（自ら実践して学ぶ）
 - 相互研鑽による自己成長(実践の悩み解消、推進のコツ等の体得)
 - 自ら職場で実践し、振り返りを含め実践行動力を身に付けていく。

■ 出版活動(出版部会)：知恵袋の提供

- ・アセッサージャーナル発行
 - 自らの実践事例や成果を生み出した実践手法を掲載
 - 読者ニーズに合った“自らの実践に役立つ内容”を掲載

■ 運営(広報)活動(運営部会)：JQAAフォーラムの広報

- ・JQAA認知度向上のために広報/宣伝活動
- ・活動報告会等の運営と窓口業務、収支決算の開示
- ・内部規定、個人情報管理規程、業務委託覚書等の文書管理
- ・JQAAホームページのブラッシュアップ(情報発信・受付・要望収集等の機能充実)

3. 2009年度の振り返り

3-1. 09年度の当初目標

3-2. 09年度の活動実績

3-3. 09年度会計報告

3-1. 09年度の当初目標

学習活動

■研究会

顧客ターゲットを「経営革新活動を推進・支援するアセッサー」としながらも、アセッサーの紹介で広く経営革新に取り組む方々に対しても有用な実践事例による学びを提供する。このため以下の観点から活動を展開する。

1. 研究テーマの魅力度アップを図る。
2. アセッサーの口コミによる集客力アップを図る。(目標:平均参加者数45名)

■実践研究会

広く革新活動を実践している方々を対象として、「自らの経営革新の実践力や推進力を磨く相互研鑽の場」として定着化を図っていく。このため以下の観点から活動を展開する。(10名程度/年度)

1. 自らの組織の革新活動を推進する上での悩みを解消する。
2. 色々なケースでの経営革新実践力や推進力を身に付ける。

出版活動

「経営革新現場情報」と「経営革新のための実践ノウハウ」に重点をおいた昨年度の編集方針を引き続き踏襲し、以下の観点から活動を展開する。

1. アセッサージャーナルの内容の充実を図る。
2. 地方経営品質協議会等との連携により拡販を強化する。(目標:350冊)

運営活動

本フォーラムの活動意義をアセッサー以外の広く経営革新に取り組む方々にも広めていく。このため以下の観点から活動を展開する。

1. 経営品質協議会(JQAC)主催等のイベントでの認知度向上活動
2. 地方経営品質協議会の会員の皆さんへの認知度向上活動

3-2. 09年度の活動実績

3-2-1. 学習活動の実績

3-2-2. 出版活動の実績

3-2-3. 運営活動の実績

3-2-1. 学習活動の実績①

■ 研究会の更なる充実

- ・研究会テーマ選出の視野を拡大
 - 革新性のみに拘らず感動的な事例
 - 会社を良くするために取組んだ苦勞・工夫の事例
- ・知名度の高い講師選定
 - 既に各所で講演している方、感動を与える方
- ・広く経営改革に取り組む方々の参集
 - アセッサーから関係者への呼びかけを促進

■ 実践研究会の更なる充実

- ・最適人数(10名程度)を超えた16名が応募
- ・参加メンバーとの積極的な議論展開
- ・相互研鑽による高い満足度達成

3-2-1. 学習活動の実績②

《研究会の内容》

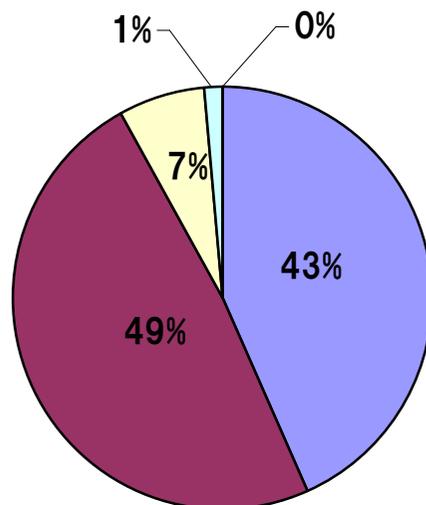
月日	講師 (敬称略)	会社名	研究テーマ	参加者
7/21	田村 均	(株)リコー	卓越した経営を目指す経営品質プログラムとは ～マネジメントの見える化～	108
9/30	嶋津 成人	(株)アクセル	知的資本経営のすすめ ～丸善の知的資本経営の取り組み～	52
	河村 収	丸善(株)		
10/24	高橋 義郎	元日本フィリップス(株)	戦略の空文化を防ぐ非財務指標の選び方	47
11/21	望月 広愛	(株)MATコンサルティング	J・アートレストランシステムズが実践した経営革新のための簡易 アセスメントの方法と展開	42
12/17	香取 貴信	(有)香取感動マネジメント	私の体験したディズニーマジック、そして感動を呼ぶスタッフづくりの秘密	98
1/21	西川 敬一	(株)フロックス	人が幸福になる経営 ～DO IT!の取材から学んだ成長企業の共通点～	77
2/16	齊之平信一	三州製菓(株)	全ての従業員が活躍できる環境づくりで徹底したボトムアップ経営を実現	34
3/25	鈴木 清隆	(株)ニチレイフーズ	ニチレイにおけるリスク管理型CRMの取り組み ～『お客様の声』の情報活用と『CS&RM』の実践～	57
4/22	松尾 光雄	(株)エーエスエーとちぎ中央	全ての社員に潜在する無限の能力をより発揮できる組織作り ～創業10年目でのTQA「県知事賞受賞」・新聞の売り方を変える～	52
5/19	若松 誠一	オリンパスイメージング(株)	オリンパスイメージングにおける顧客の声の活用について ～コールセンターを軸としたVOC活動の展開～	31

参加者総数:568名(504名)、非アセッサーの割合:42%(35%)、非製造業の割合:59%(53%) ()内昨年実績

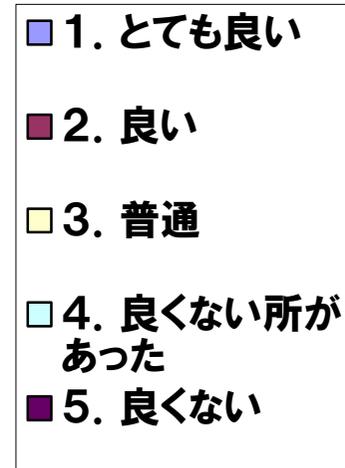
3-2-1. 学習活動の実績③

《研究会アンケート結果(回収率89.7%)》

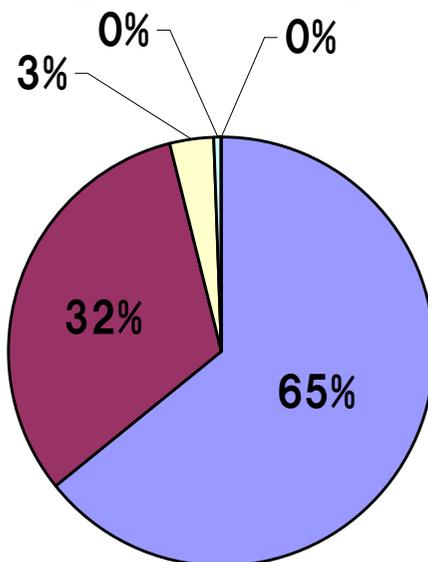
【総合】



良い以上: 92%

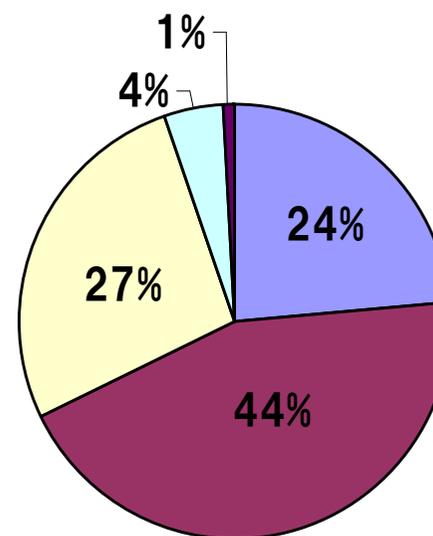


【講義内容】



97%

【研究会の運営】



68%

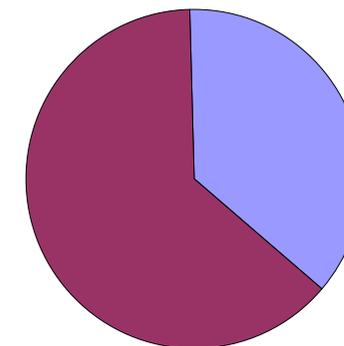
3-2-1. 学習活動の実績④

《第五期実践研究会アンケート結果》

質問：参加企業相互の改革事例の発表について

1. 非常に参考になった
2. まあまあ参考になった
3. どちらともいえない
4. あまり参考にならない
5. まったく参考にならない

1+2 <参考になった> 100%



その他 自由記述抜粋

- ・一流企業のJQA活動の一部実態がわかった その企業なりに課題満載で進めていることに共感
- ・社内では相談相手がいないで悩んでいる課題について貴重な意見をいただけ
- ・自社も含め全体的に苦勞している会社が多いと感じた(皆解決策を求めている)
- ・他社の取り組み事例を聞く機会があまりないので、それらを聞くことが出来て大変参考になった
- ・各会社の実践事例が多く集まり、これらの実践事例からの問題点や検討内容は実践者にとってヒントとなる多くのメッセージがある

3-2-2. 出版活動実績①

- **ジャーナル15号の発行、16号の製作**
- **ジャーナル本体の見直し**
 - ・ **ジャーナル表紙の刷新(写真を配したデザイン)**
 - ・ **15号完売に備えた簡易印刷版の製作**
 - ・ **バックナンバー・コピー版向け表紙改版**
- **ジャーナル製作費用削減への取組み ⇒ 単年黒字化!**
 - ・ **編集費用の見直し**
 - ・ **JQACとの新たな印刷業者の開拓**
- **ジャーナル拡販への取組み**
 - ・ **14号販売期間延長(15号の発売時期変更)**
 - ・ **年次総会での講演資料としての配布**
 - ・ **地方協議会、地域研究会からの大量一括受注**

3-2-2. 出版活動実績②

《ジャーナル15号の概要》

内容	執筆者
特別寄稿：心の内側に火をつける～DOIT!の原点～	西川 敬一
絆と連鎖を育む組織風土(株式会社富士通ユニバーシティ)	長谷川 純
絶対品質は私達の手で!(株式会社ササキ)	佐々木 啓二
強みを起点とした新規事業の展開(株式会社三鮮商事)	鹿島 隆太郎
レポート：医療は究極のサービス業～川越胃腸病院のCS経営～	JQAA編集部
誌上セミナー：サステナビリティ重視の経営について考える	高橋 義郎
日本経営品質賞アセスメント基準書2009年の改定ポイント	水町 浩之
「インプロ・シンキング」変化し続けるビジネス界を生き抜く力(3)	池上 奈生美
組織の活性化を支援するコーチングスキル(2)	宮澤 美恵子
Dr.テラのアタマの本棚から(5)	寺沢 俊哉

3-2-2. 出版活動の実績③

《ジャーナル16号の概要》

内容	執筆者
Front of View (巻頭言) 経営品質と真善美の追求	寺本 義也
新聞の売り方を変える(エーエスエーとちぎ中央株式会社)	松尾 光雄
Dream Theater (株式会社カワムラモーターズ)	河村 将博
三重県庁「経営品質向上活動」の歩み	萬野 智
“メガネ”としての経営品質と「世界観」	伊藤 良之
「働きがいのある会社」(The Great Place to Work)とはなにか	末松 清一
実践研究会活動からの学び	土屋 元彦
地方協議会便り	編集部
JQAA月例研究会報告	高橋 義郎
「インプロ・シンキング」変化し続けるビジネス界を生き抜く力(4)	池上 奈生美
Dr.テラのアタマの本棚から(6)	寺沢 俊哉

実践！経営革新 Assessors Journal

アセッサージャーナル

アセッサーと経営革新に取り組む人のための情報誌

第16号

経営革新の現場から

三重県庁 「経営品質向上活動」の歩み



Front of View

経営品質と真善美の追求（早稲田大学 寺本義也氏）

経営革新の現場から

新聞の売り方を変える <株式会社エーエスエーとちぎ中央>
Dream Theater <株式会社カワムラモーターズ>

レポート

「働きがいのある会社」（The Great Place to Work）とは

報告

実践研究会活動からの学び / 地方協議会便り / JQAA月例研究会報告

特別寄稿

「メガネ」としての経営品質と「世界観」

経営品質アセッサージャーナル

JQAA
Japan Quality Award Assessors

JQAA経営品質アセッサージャーナル

3-2-3. 運営活動の実績

■ JQAA配信の改善

- ・研究会等の状況に合わせた配信頻度増加

■ JQAA Webサイトの更新・管理の継続検討

■ 研究会運営支援/ジャーナル拡販支援

- ・研修テーマのチラシ作成と配布
- ・Web・メルマガによる案内

■ 理事内のメーリングリスト作成と管理

■ 会計業務

3-3. 09年度会計報告①

監査報告書

経営品質アセッサーフォーラム

理事長 雪竹 泰三 様

2010年6月9日

監事

内藤 貞人 

矢野 敬人 

2009年度会計監査

当監事は、経営品質アセッサーフォーラムの規約に基づき、2009年度（期間：2009年6月1日～2010年5月31日）における、同フォーラム活動に関わる会計報告書を監査した結果、会計処理は校正と認められる手続きによって行われていることを確認いたしましたので、その旨、監査報告いたします。

以上

3-3. 09年度会計報告②

2009年度 経営品質アセツサーフォーラム 会計報告書 2009（平成21）年6月1日～2010（平成22）年5月31日

（単位：円）

1. 収入の部

①学習活動（研究会・実践部会）		1,775,000
②出版活動（アセツサージャーナル）		413,385
③その他収入（寄付、受取利息）		50,242
	計	2,238,627

2. 支出の部

①学習活動 会場利用料	557,910	940,134
学習活動 講師謝礼（総会懇親会、資料印刷代等経費含む）	382,224	
②アセツサージャーナル 原稿料（経費含む）	47,365	217,990
アセツサージャーナル 印刷費	170,625	
③理事会運営費、理事交通費	251,420	533,761
2008年度総会関係	79,170	
理事合宿	145,716	
その他雑費（事務用品、送料、振込手数料等）	57,455	
	計	1,691,885

3. 前期からの繰越金

547,615

4. 残高

1,094,357

4. 2010年度の取り組み

- 4-1. 10年度の目標
- 4-2. 学習部会の取り組み
- 4-3. 出版部会の取り組み
- 4-4. 広報部会の取り組み
- 4-5. 会計担当の取り組み
- 4-6. 収支予算概算
- 4-7. 主な会則の変更
- 4-8. 10年度の体制

4-1. 10年度の目標

私達JQAA理事は、
経営革新に熱意を持って取り組まれている経営者、
幹部の方々、事務局として推進されているの方々に対して、

実践の悩み解消やスムーズな推進のコツ習得といった
「経営革新の実践力・推進力」を体得して頂けるように、

少しでもお役に立てる相互研鑽の場を提供すると共に、
皆さんと同じ立場で、共に勉強させて頂くことで、

ボランティアとして経営革新のお手伝いをさせていただきます。

4-2. 学習部会の取り組み

■ 研究会の更なる充実

- ・研究テーマの魅力度アップと集客力アップ
 - 研究テーマを幅広い実践事例から選出(感動/革新事例)
 - ニーズにマッチした講師とテーマの選定
- ・広く経営改革に取り組む方々への紹介
 - アセッサーからの口コミ喚起の工夫(キャッチコピー)
 - 関連セミナー主催元との連携

■ 実践研究会の更なる充実

- ・第6期参加者募集と実践研究活動のアピール強化
- ・参加者の問題意識に合った活動
- ・内容成果物の共有と再試行成果の把握

4-3. 出版部会の取り組み

■ ジャーナルの認知度向上・普及

- ・JQAA通信の発信頻度/内容の改善(継続)
- ・地方経営品質協議会との連携(継続)
- ・JQACとの連携(継続)
- ・Webを活用した読者との双方向コミュニケーション

■ コンテンツ充実と魅力度アップ

- ・読者の要望・意見の吸い上げとフィードバック(継続)
- ・地方経営品質協議会への編集協力依頼
- ・魅力あるタイトル/コンテンツに編集
- ・過去資産(バックナンバー記事)の活用検討

4-4. 広報部会の取り組み

■ 運営部会を広報活動中心へシフト

- ・Webサイト機能強化に伴うJQAA活動の活性化
- ・JQAの考えに則り経営革新に取り組む人々へも展開
- ・新規活動に向けた企画立案
- ・総会等各種会合の運営支援(継続)

■ JQAA活動の認知度向上

- ・JQAC／全国地方経営品質協議会との連携

■ JQAA Webサイトのリニューアル

- ・読者に対する魅力度アップを図る
- ・全国地方経営品質協議会との相互リンク
- ・セミナー受付の効率化

■ 文書類の管理(HP上)

- ・JQAA規約、覚書等の更新・管理
- ・個人情報管理規程等の更新・管理

4-5. 会計担当の取り組み

■ 会計業務を理事会直下に置く

- ・会計担当は、従来旧運営部会で分担していたが、今年度から理事会直下に設置する。

■ タイムリーな収支分析と対策提起

- ・JQACとのジャーナル販売状況等の情報交換
- ・損益改善策の提起

■ 収支決算の透明化(継続)

- ・各種入出金管理／各種領収書発行の励行
- ・収支の見える化

4-6. 収支予算概算(10年度)

(単位:円)

	費用	収入	備考
学習部会 研究会 実践研究会	1,000,000	1,450,000	会場・備品費:600,000円/年度 講師謝礼等:400,000円/年度 研究会:1,350,000円(年度10回・45名)/年度 実践研究会:100,000円(年度10名)/年度
出版部会 ジャーナル	834,000	1,100,000 (完売時)	印刷・製本費:187,000円(700冊)/号 執筆者謝礼:80,000円+100冊/号 拡販用(地方協議会等):50冊/号 発刊:年度2回、販売数:完売時550冊/号
運営部会 総会/研修会等	600,000	50,000	会場費用・理事/監事等費用:500,000円/年度 活動費用:100,000円/年度 雑収入:50,000円/年度
合計	2,434,000	2,600,000	収益見込:166,000円/年度

4-7. 主な会則変更

■ 規約の「目的」の表現変更

JQAAは、経営品質協議会の認定セルフアセッサーによる
認定セルフアセッサーのためのフォーラムである。

⇒JQAAは、経営品質協議会の認定セルフアセッサー(会員)を中心とするも、
広く日本経営品質賞の考えに方に則り経営革新に取り組む者も
参加できるコミュニティとする。

■ 運営部会の名称の変更

運営部会 ⇒ 広報部会

JQAA内部運営を中心とした活動から、認知度向上を目指した
広報活動にシフト(広くJQAAフォーラムを知ってもらう)

■ 理事会役員の定数変更と特別部員の登用

- ・理事の定員数:17名 ⇒18名
- ・理事・監事の経験者の中から熱意ある者を特別部員として登用する
(JQAAフォーラムの活動を支えるメンバーを増やしていく)

詳細:JQAAホームページ(<http://www.jqac.com/jqaa/index.html>)をご覧ください。

4-8. 10年度の体制

経営品質アセッサーフォーラム(JQAA)

理事長 : 雪竹 泰三
 副理事長: 新家 修(出版・広報)
 副理事長: 校條 亮治(新任:学習)
 会計担当理事: 日下部 修一
 監事: 永井 洋子(新任)
 監事: 中山 博(新任)

【学習部会】

リーダー理事: 熊巳 弘一
 理事: 大森 康世(実践)
 理事: 後藤 直子(研究)
 理事: 西村 吉弘(研究)
 理事: 加藤 修明(新任:研究)
 理事: 清水 光一郎(新任:実践)
 部員: 土屋 元彦(実践)

【出版部会】

リーダー理事: 黒瀬 晋
 理事: 大林 純子
 理事: 島宗 秀樹
 理事: 原口 佳典
 理事: 平井 嘉人(新任)
 部員: 伊藤 良之(編集)

【広報部会】

リーダー理事: 小楠 高弘
 理事: 久保田 秀子
 理事: 藤代 光洋
 部員: 内藤 貞人(会場設営)
 部員: 服部 洋子(会場受付)

新任役員

理事: 加藤 修明、清水 光一郎、平井嘉人、校條亮治

監事: 永井 洋子、中山 博

退任役員

理事: 永井 洋子、中山 博

監事: 内藤 貞人、矢野敬人

ご清聴ありがとうございました。